

② 協議会での地域特性の確認結果（平常時）

目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会において、構成員（鉄道事業者、企業、大型集客施設、教育施設、防災関係機関）から出された平常時の地域特性は、以下のとおりである。

図表 84 地域特性の確認結果（平常時）⁷⁴

		西側（目黒川方面）	東側（自然教育園方面）
人・場所の特徴		<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺の商店街などの利用客は周辺企業の従業員が多く、地元住民は比較的少ない。 ・ 目黒通り上下車線の合流地点より西側は、店舗と住宅が混在しており、周辺企業の従業員の通行は少ない。 ・ 権之助坂商店街は飲食店が多く、夕方以降は権之助坂周辺の人通りが増える。 ・ 権之助坂を通る人が圧倒的に多いが、行人坂は約3,000名程度が往来したという調査も過去にあった。現在は会社も増えてきているためさらに人通りが増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目黒駅周辺の買い物客は地元の住民が多い。 ・ 飲食店が少ないため夜間は人通りが減少する。 ・ 北側に東京都庭園美術館があり土日のイベント時には人が増える。 ・ 駅周辺より東側は住宅が多い。 ・ 目黒通り沿いの表通りは商店やビジネスビルが並び、路地に入ると集合住宅が多くなる。
がけ地、狭あい		<ul style="list-style-type: none"> ・ 目黒（一）、下目黒（二）に狭あい道路（4m未満幅員の道路）が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上大崎（一、三、四）にがけ地（急傾斜地崩壊危険箇所）が多い
道路の特徴	歩行者の多い道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤通学の時間帯は、目黒通り沿いにある日出学園や多摩大目黒などの学生が多く通る。 ・ 権之助坂方面、三田方面、ドレメ通り方面の3方向に人の流れが分かれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵比寿駅方面や五反田駅方面へは坂道であり、南北に人が行き来することは少ない。 ・ 出退勤の時間帯は駅前に企業の従業員が多く通行する。
	交通量が多い道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山手通りは夕方になると交通量が増え、それに伴い目黒通りも渋滞が起きる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上大崎交差点付近は交通量が多く、駐車車両が多い時は渋滞が起きる。
	東西の往来	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺で東西の往来ができる場所として、目黒通り以外は目黒駅北側にある踏切と歩道橋の2ヶ所あるが道幅が狭い。また、駅南側は東西の往来ができない。 	

2. 現況および課題の把握

図表 85 地域特性の確認結果（平常時）のまとめ⁸¹



(3) 災害時の課題

基礎データおよび地域特性の確認結果（平常時）を踏まえた、駅周辺の災害時における課題は、以下のとおりである。目黒駅周辺帰宅困難者対策協議会において、時間経過に伴う課題を抽出し、6つに集約した。

図表 86 災害時の課題⁸¹

時間経過に伴う 滞留者等の状況	災害時の課題	
	西側（目黒川方面）	東側（自然教育園方面）
<p>発災直後 ～数時間 安全な場所に 退避する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目黒通り沿いと駅周辺中心に限定して人が集まるため、災害時に滞留する場所は範囲が絞られる。 災害時の避難は東西の往来が制限されるため南北の方向に誘導することが考えられるが、滞在できるスペースに限界がある。そのため、要配慮者を優先的に案内するなどの対応を決めておく必要がある。 駅周辺地域はほとんどの建物が耐火構造であるため、震発生直後にいったん人が外に出たとしても多くの人々が学校や職場に戻る事が考えられる。 	
<p>数時間後～ 一時滞在できる 場所を探す ・ 一部の人々が帰宅 行動を始める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドレメ通り南側は急勾配となっているため、坂道を登り目黒駅周辺に集まってくる人は少ないと想定される。 地理がわからない人が雅叙園など駅南側まで移動することは少ないと想定される。 山手通りの歩行者は、田道広場公園付近より北側にいる場合、中目黒方面に向かうと想定される。 花見の時期においては目黒川通り沿いに人が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 都心から目黒通りを徒歩帰宅する人が流入してくることが想定される。 ※東日本大震災では発災から数時間経過した夕方以降に都心から帰宅する人が増えていった。そのため、夜10時ごろまで駅にまったく近づけない状況が続いた。 都心から目黒通り沿いに流入してくる人は、一部渋谷方面に流れる可能性もある。 震災時は駅にある集客施設のトイレに行列ができた。

災害時の課題（まとめ）

- 【課題1】 退避場所・ルートの確保
- 【課題2】 滞留者の発生防止
- 【課題3】 共助による滞留者支援
- 【課題4】 円滑な避難誘導
- 【課題5】 発生した滞留者の一時滞在
- 【課題6】 帰宅者支援

2. 現況および課題の把握

図表 87 災害時の課題マップ（発災直後）⁸¹

